

外交研究会

2019年インド総選挙と9億人の民主主義

2019年6月19日(水) 15.00～17.00

鹿島平和研究所2階会議室

竹中千春(立教大学)

1. 2019年総選挙の動向、2014年総選挙と比較

2. 「人民党システム」の成立か？

3. 2期目のモディ政権成立

4. インド民主主義の変質とヒन्दゥー・ナショナリズム

5. 2019年ウツタル・プラデーシュ州の選挙戦

6. インド9億人の選択と国際社会

1. 2019年総選挙の動向 人民党大勝

Amit Sha (left)+ Narendra Modi (right)

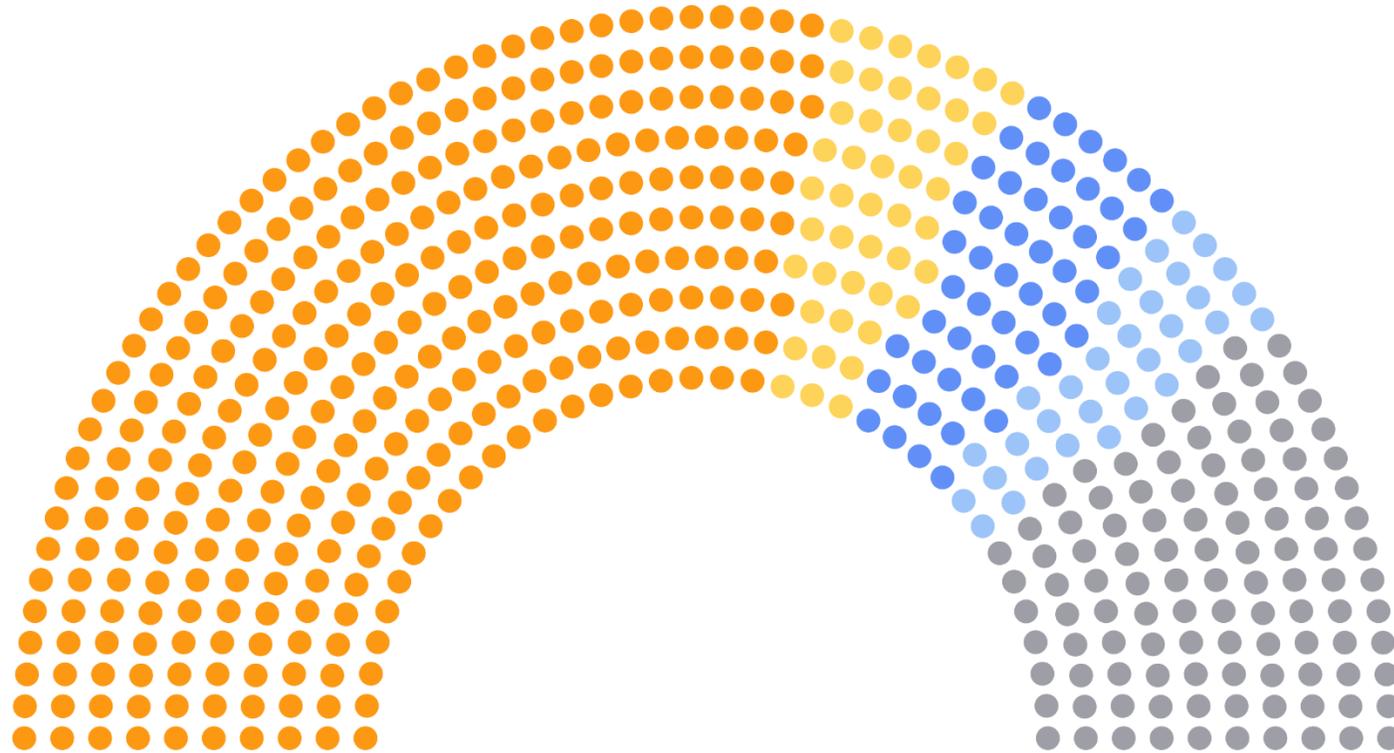


<https://www.bbc.com/news/world-asia-india-48315659>

BJP gained 21 new seats in a major victory

2019 general election result

● BJP 303 ● Other NDA 47 ● Congress 52 ● Other UPA 33 ● Others 108



Note: The poll was cancelled in one constituency, so only 542 seats were elected

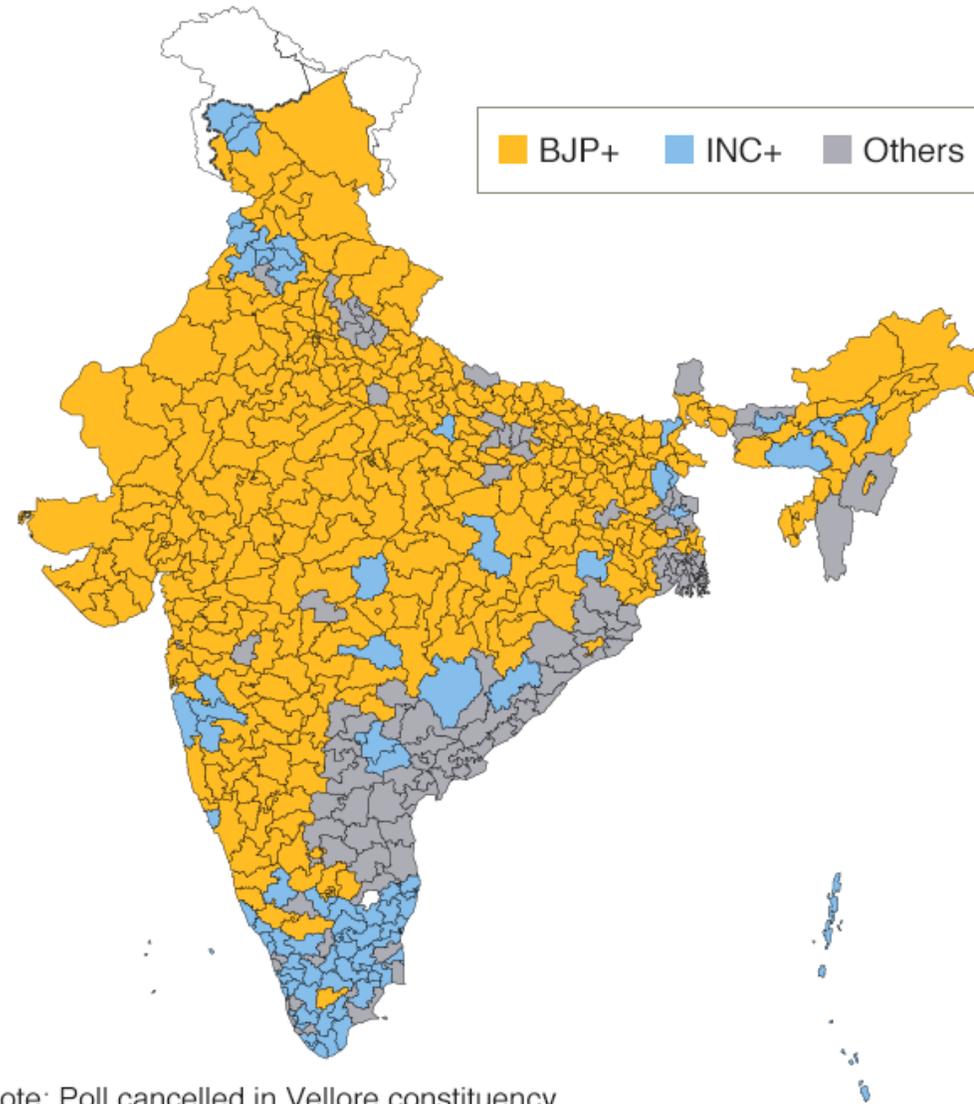
Source: Election Commission of India

BBC

Indian election results 2019

2019年インド総選挙 543選挙区の結果

<https://www.bbc.com/news/world-asia-india-48366944>



Note: Poll cancelled in Vellore constituency

Source: CVoter

BBC

5年前との比較:2014年総選挙

ナレンドラ・モディ率いるインド人民党(BJP)大勝

“India elections: Papers pore over Modi win” BBC, 17/5/2014, <http://www.bbc.com/news/world-asia-india-27452924>

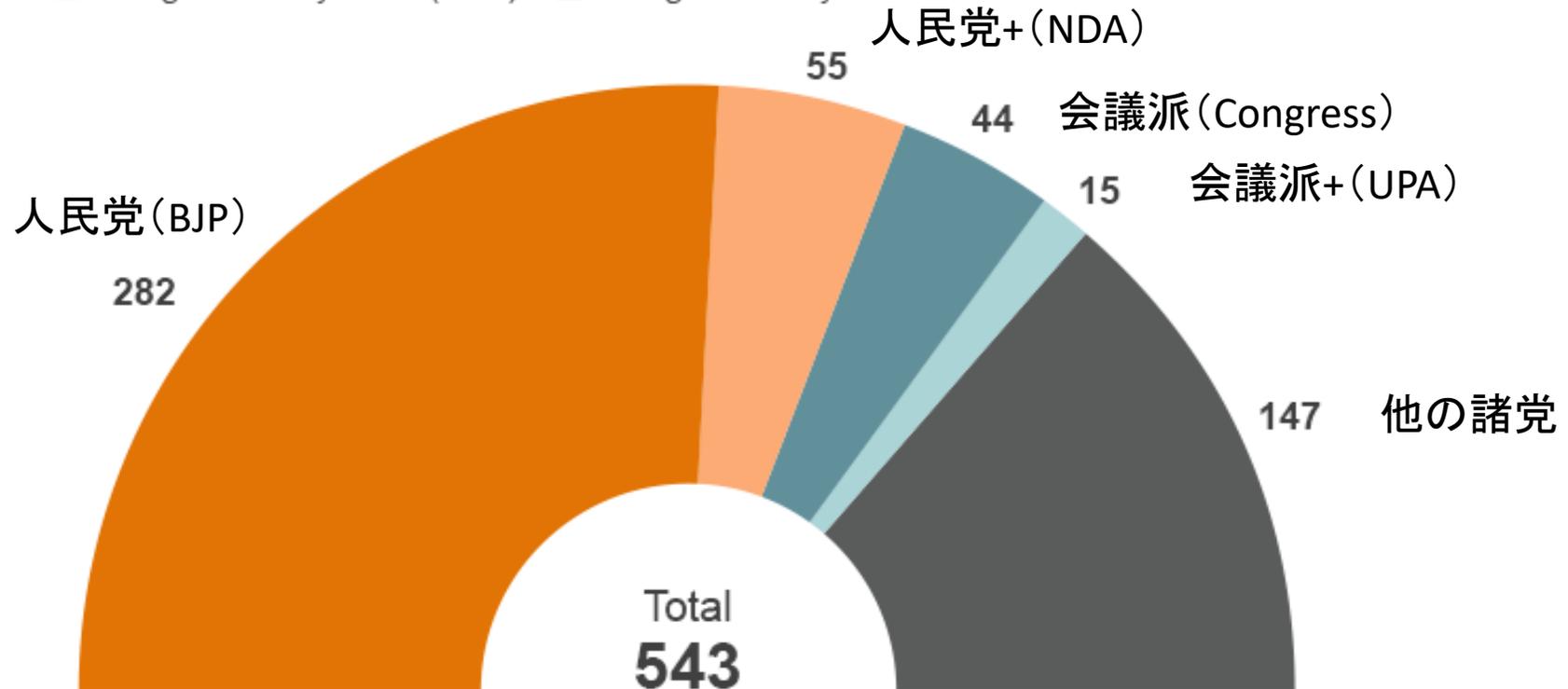


2014年連邦下院議会議選挙結果

<http://www.bbc.com/news/world-asia-india-27451970>

India election results

■ BJP ■ BJP allies (NDA) ■ Others
■ Congress Party allies (UPA) ■ Congress Party

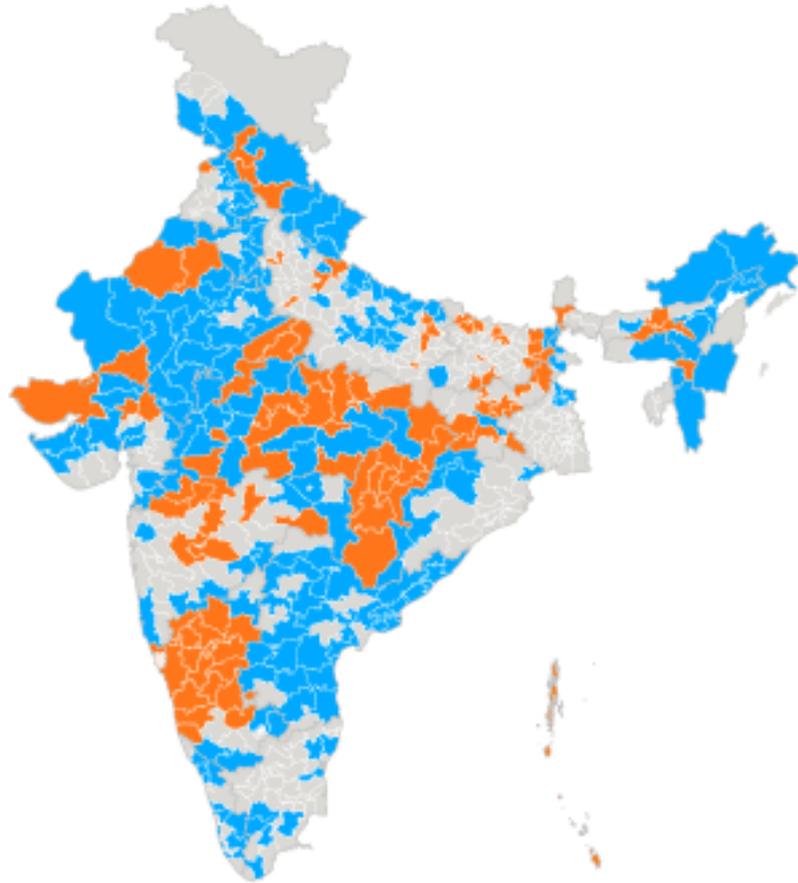


Source: EIC

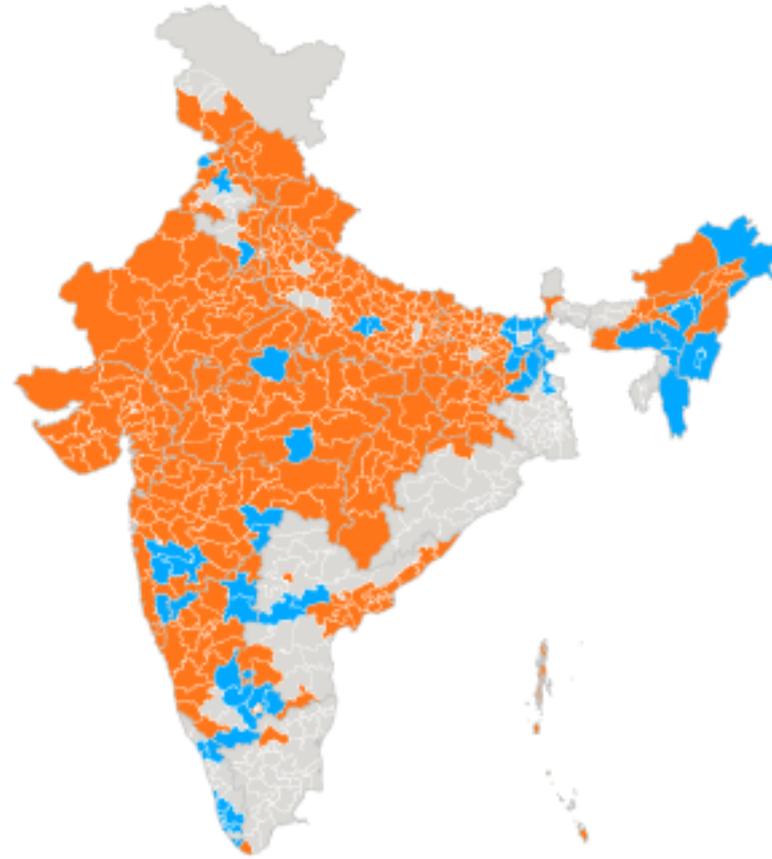
India general election results

■ BJP and allies ■ Congress Party and allies ■ Other

2009



2014



Source: Press Information Bureau, India

http://news.bbcimg.co.uk/media/images/74925000/gif/_74925190_indian_election_maps_side_by_side_624.gif

人民党(BJP)の勝因

- 強力な選挙マシンの形成と活用
- 優秀な人材を獲得した選挙戦略の形成と実行
- 党内指導部の団結
- 中央と州と草の根社会の連携
- 党の顔の「モディ」の創造と宣伝
- メディアとSNSの活用
- 国内企業、グローバル企業の支援

BJPに票を投じたのは誰か？

古い票田

高カースト
地主、商店主

若い世代

18歳以上、1億人以上増加

貧しく疎外された人々

OBC, EBC, SC, ST etc.

都市ミドルクラス

経済成長、汚職払拭、治安維持などに関心

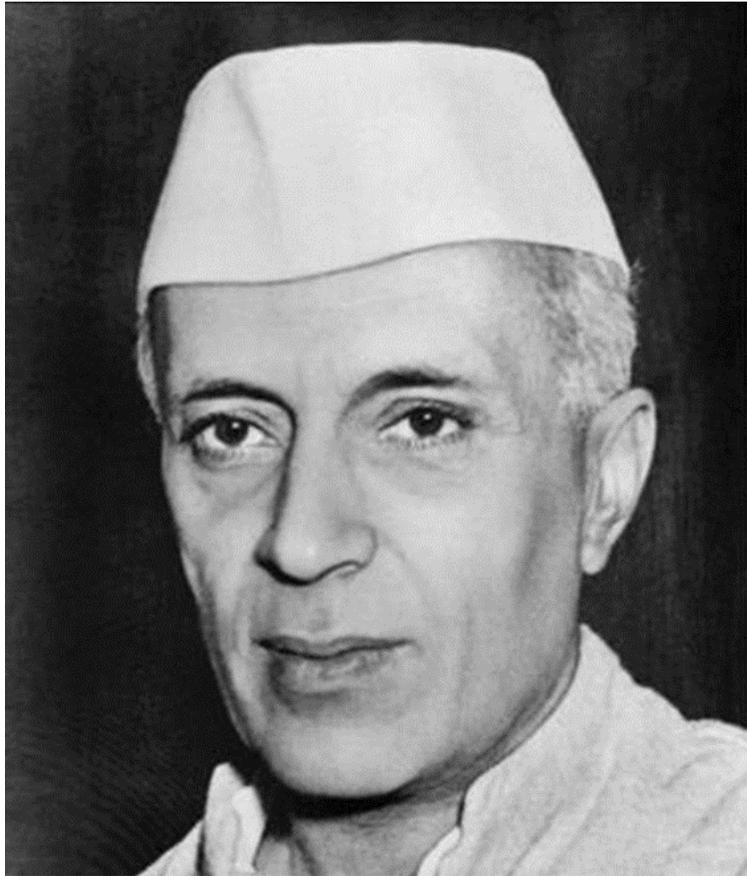
2019年選挙戦でも治安と安全保障を強調 (10%成長には触れず)

- 2月25日パキスタン管轄のカシミールに、武装勢力の拠点をインド空軍が爆撃。
- 選挙戦中盤(4月下旬～5月初旬) スリランカの爆破テロ事件を取り上げて対テロ作戦と治安確保を宣伝。
- 選挙戦中盤(4月下旬～5月初旬) 西ベンガル州でTMC陣営の暴力を批判、選挙運動を規制。

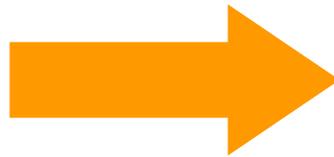


<https://www.theguardian.com>

2. 「人民党システム」の成立か？



インド初代首相ジャワールラル・ネルー



<https://www.indiatoday.in>
ナレンドラ・モディ首相

植民地独立ナショナリズムとしての 「インドの理念」(Idea of India) ネルー政権時代

議会制民主主義

非同盟外交

インド連邦

インド型社会主義

インド型世俗主義

グローバル・インドとしての「インドの理念」 モディ政権時代



3. 2期目のモディ政権樹立

- 人民党総裁アミット・シャーを内相に起用。正式にNo.2
- 前外相スシマ・スワラージに代えて、前外務事務次官S・ジャイシャンカールを起用。
- 前蔵相A・ジャイトリーに代えてN・シタラマンを起用。
- 前内相ラージナート・シンが新国防相。
- モディの指導力を強化。



<https://www.businesstoday.in>

新内閣の構成

ポスト	名前	政党
首相 人事院・原子力相・宇宙相	ナレンドラ・モディ	人民党・グジャラート州
内相	アミット・シャー	人民党総裁 グジャラート州、初入閣
蔵相	ニルマラ・シタラマン	人民党 前国防相
外相 在外インド相	S・ジャイシャンカール	前インド外務次官
国防相	ラージナート・シン	人民党・元UP州首相 前内相
<u>鉄道大臣兼商工大臣</u>	ピユシュ・ゴヤール	人民党 前鉄道大臣 新幹線計画担当
繊維大臣兼女性・子供担当	S・イラーニー	人民党 前繊維大臣, 元女優 R・ガンディーに勝

主要閣僚57名
(閣内大臣24名、独立権限を有する閣外大臣9名、閣内大臣の下について特命事項を担当する閣外大臣24名)

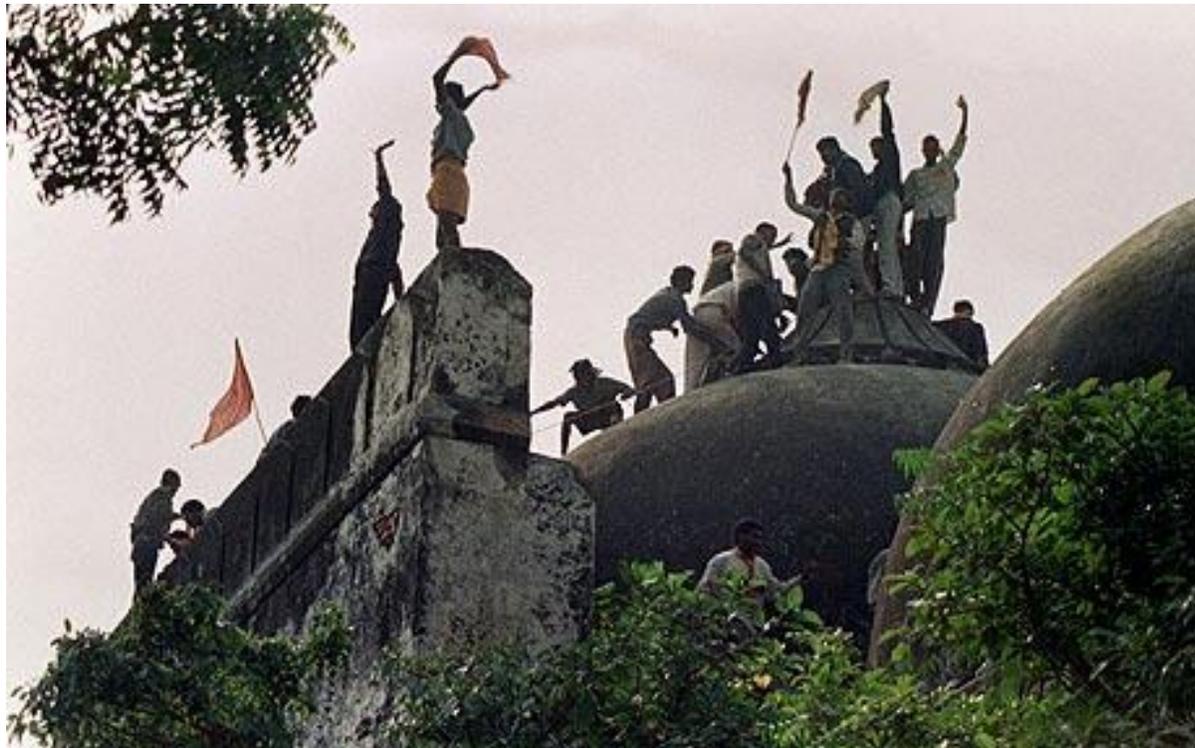
女性大臣は、閣内大臣3名、独立権限を有する閣外大臣は0、閣内大臣の下にある閣外大臣は3名、計6名。

4. インド民主主義の変質とヒन्दウー・ナショナリズム

アヨーディア暴動

1992年12月6日

http://i.telegraph.co.uk/multimedia/archive/01529/babri_1529348c.jpg



ボンベイ暴動

1992年12月-93年3月

http://photos.outlookindia.com/images/gallery/20120404/bombay_riots_20120416.jpg

ヒンドゥー右翼政治、ヒンドゥー右翼の暴力、ムスリム弾圧

ジャム・カシミール州ジャムでの 牝牛保護運動の猿神軍団(BD)



<https://scroll.in/article/862844/>

Bajrang Dal activists protest against cow slaughter in Jammu | HT



カシミールで8才のムスリムの少女レイプ事件
警察官を含む8名のヒンドゥー男性逮捕、ヒンドゥー右翼の
脅迫に裁判を隣のパンジャーブ州に移転。

BBC、2018年5月7日

<http://www.bbc.com/news/world-asia-india-44030179>

インド人民党システム ヒンドゥー国家への再編

国民社会の「ヒンドゥー化」

- ① サング・パリワール(聖戦軍団)
RSS, バジラン・ダル、VHP, シヴ・セナ
- ② 暴力の政治の活用
ムスリム弾圧、女性弾圧
- ③ メディアの活用と統制
マス・メディア＋ソーシャル・メディア
- ④ 市場経済の「ヒンドゥー化」
- ⑤ 草の根社会の統制と動員

国家制度の「ヒンドゥー化」

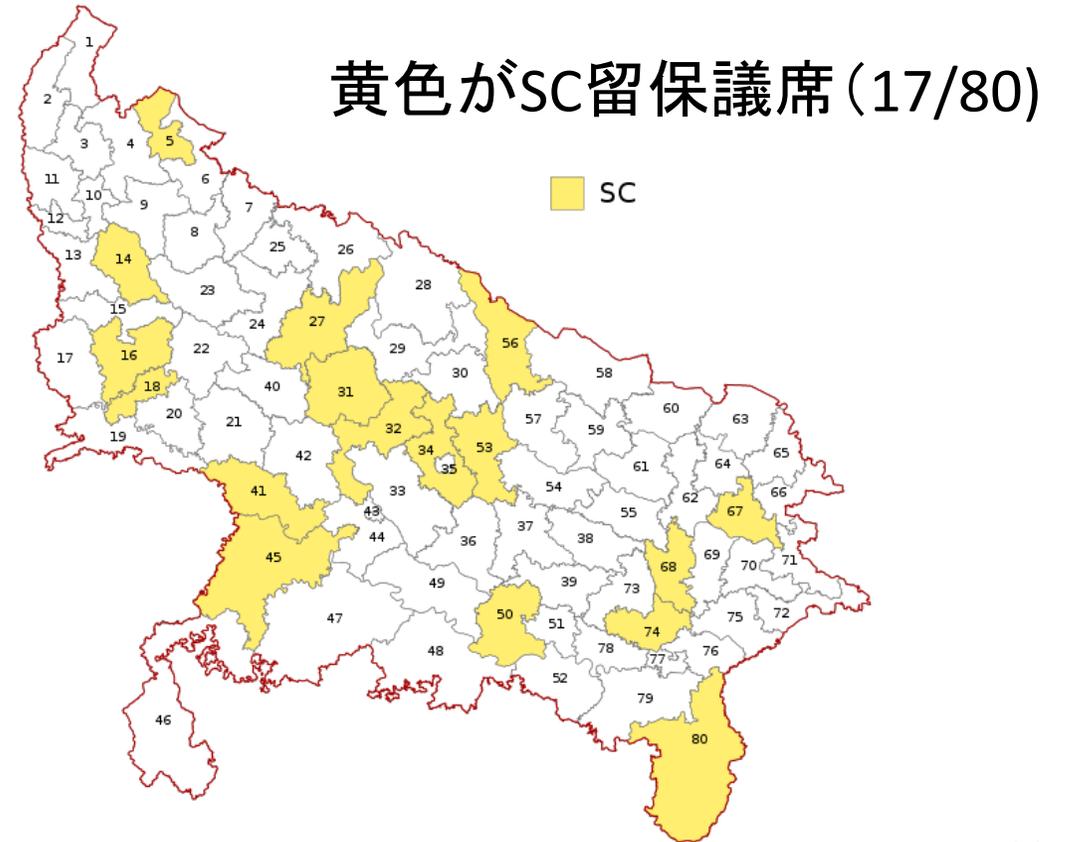
人・組織・財源・思想・政策

- ① 警察と軍隊の変質
- ② 選挙管理委員会
- ③ 裁判制度と法制度
- ④ 国立大学・研究機関
- ⑤ 首相権限の乱用・拡大

Ref. Vanaik, Achin, "India's Two Hegemonies", New Left Review, 112, Jul-Aug 2018, 29-58.

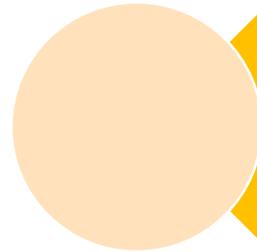
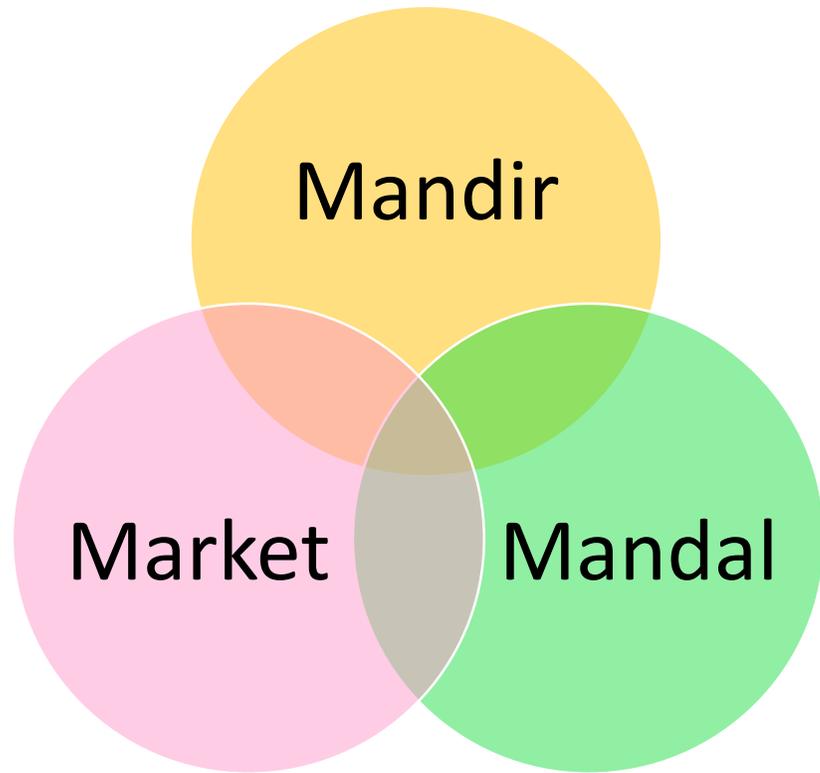
5. 2019年ウツタル・プラデーシュ州の選挙戦

連邦下院議会でUP州が最大議席
～99年85/543、02年～80/543

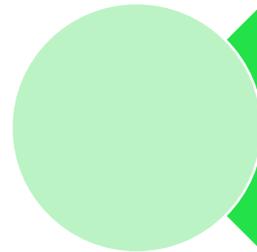


1990年代～2000年代

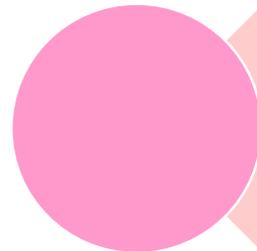
3つのM



ヒンドゥー至上主義
反イスラーム・ラーマ寺



農民カースト(OBC)
留保制度



市場経済

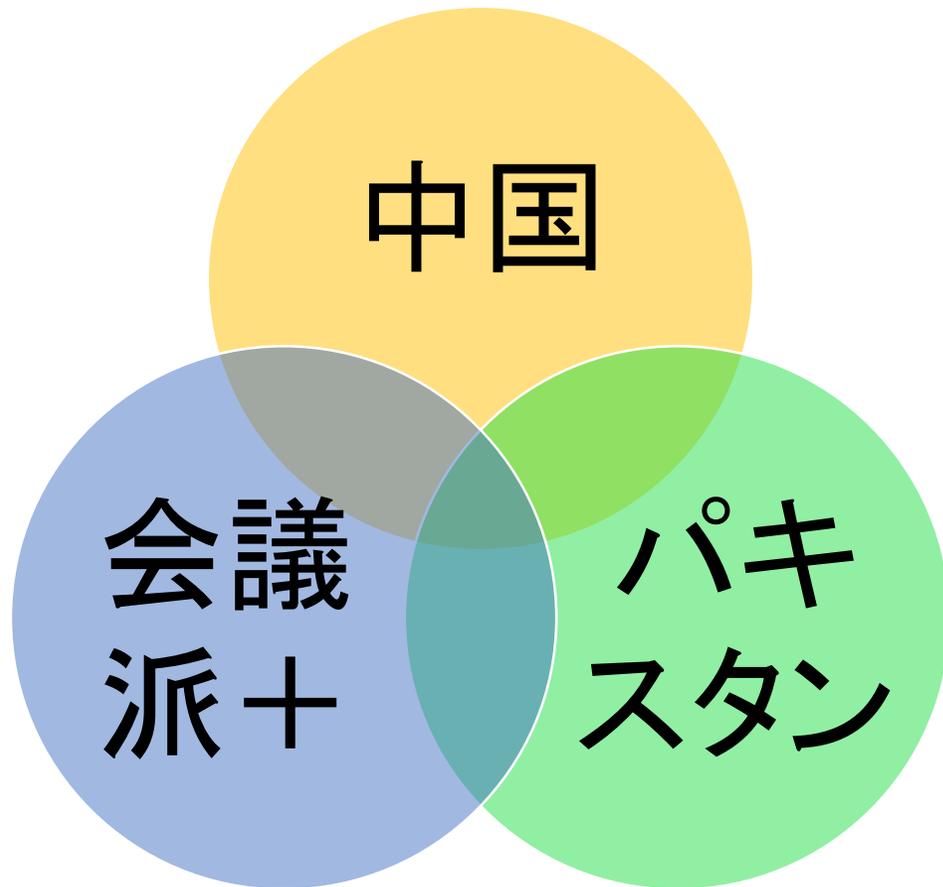
インド人民党と2014年総選挙： 選挙マシンと「グジャラート・モデル」の導入



Jha, Prashant, *How the BJP Wins: Inside India's Greatest Elections Machine* (New Delhi: Juggernaut, 2017);
Tiwari, Manish and Rajan Pandey, *Battleground U.P.: Politics in the Land of Ram* (Tranquebar Press, 2013)

6. インド9億人の選択と国際社会

モディ政権2期目：ナショナリズム強化



- 中国への抑止と対抗
- パキスタンへの攻勢
- ヒマラヤ・東北地方・BIMSTEC
- インド洋島嶼国
- 軍備強化(核ミサイル・海軍)

ヒンドゥー国家インドの大国化 大砲もバターも？

東方政策＋インド洋



2019/5/31 就任式典にBIMSTEC首脳を招待
<https://www.ndtv.com>

日印関係の基軸のシフト 戦略的グローバル・パートナーシップ



コロンボ港開発に日印協力、中国に対抗
by Yuji Kuromuna, <https://asia.nikkei.com>

著者の最近の関連論文

- 1) 「インド民主主義とアイデンティティ政治—国民、カースト、宗教の競合—」、日本比較政治学会編『アイデンティティと政党政治』(ミネルヴァ書房、2019年6月)、54-79頁。
- 2) 「「一帯一路」と対峙するインド—日本との協力を新たな意義」電子雑誌「e-World Premium」(時事通信社、2019年5月)、65号、<https://janet.jiji.com/apps/contents/view/20190529/771/viewtemplate1/jncolumn009>
- 3) 「インドの政治—2019年総選挙へのダイナミクス」『Security Studies 安全保障研究』第1巻第2号(鹿島平和研究所 / 安全保障外交政策研究会、2019年3月)、1-27頁。<http://ssdpaki.la.coocan.jp/proposals/25.html>
- 4) “India-US Relations: A Japanese Perspective”, Gilbert Rozman and Joseph Chinyong Liow eds., International Relations and Asia’s Southern Tier: ASEAN, Australia, and India (Asan-Palgrave Macmillan Series, 2018), pp.349-356.
- 5) 「権力移行期の世界における日印関係の創造的可能性」、堀本武功編『現代日印関係入門』(東京大学出版会、2017年)、第13章。

参考文献

- Kohli, Atul, *Democracy and Discontent: India's Growing Crisis of Ungovernability* (New York: Cambridge University Press, 1991)
- Kothari, Rajni, *Politics in India* (New Delhi: Orient Longman, 1970)
- Vanaik, Achin, *The Rise of Hindu Authoritarianism: Secular Claims, Communal Realities* (London: Verso, 2017)
- 中溝和弥『インド 暴力と民主主義 — 一党優位支配の崩壊とアイデンティティの政治』(東京大学出版会、2012年)
- 竹中千春「暴動の政治過程—1992-93年 ボンベイ暴動」日本比較政治学会編『民族共存の条件』(早稲田大学出版会、2001年)
- 竹中千春『盗賊のインド史—帝国・国家・無法者』(有志舎、2010年)
- 竹中千春『ガンディー— 平和を紡ぐ人』(岩波新書、2018年)